

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	620	資源化ごみ処理及び施設維持管理事業	会計	01	一般会計	
基本施策	24	ごみを減らす生活	款	04	衛生費	
			項	02	清掃費	
			目	02	塵芥処理費	
担当部課名	生活環境部 しらさぎクリーンセンター		細目	103	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費	
作成者氏名	金谷宗清	連絡先	24-4041	細々目	01	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	資源化ごみの処理	金属類・ビン類・紙・布・ペットボトル等を再資源化することにより、環境への負荷を軽減し、循環型社会を形成することができる。
本年度事業内容	施設設備の維持管理、旧清掃工場解体に伴う調査設計業務、ダイオキシン類事前調査を行う。	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	5.9	5.5	5.6
	人件費合計(A)	42,480	39,600	40,320
②支出内訳(千円)	事業費(B)	119,565	117,883	117,500
	委託料	110,724	109,399	109,000
	その他	8,841	8,484	8,500
	合計(A+B)	162,045	157,483	157,820
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	1,522	1,015	
	受益者負担			
	その他特財	7,433	18,726	13,500
	一般財源	153,090	137,742	144,320
上記①～③に関する特記事項				
嘱託職員1名				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
金属処理	t	1,656	1,656	1,650			
ビン・ガラスくず類	t	1,255	1,255	1,250			
紙・布	t	3,583	3,583	3,580			
ペットボトル	t	226	226	220			
計	t	6,720	6,720	6,710			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
資源化ごみ率 (再生可能ごみ量/全搬入ごみ量)	当センターへ搬入された全資源ごみを分母とし、金属+ビン、紙・布、ペットボトルの有価ごみ量を分子とする比率を指標とした。	%	86.2	86.2	86.1
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

金属圧縮施設は昭和49年度より稼働しており約30年経過している。老朽化が著しく機械の故障が多発し、維持管理に苦慮している。今後は施設をさくらリサイクルセンターへ移設する予定である。
--

評価	必要性	4	資源化ごみ施設は、市内の家庭及び事業系資源ごみの処理を行い、ごみを再資源として利用していく必需施設である。近年、施設の老朽化により維持管理に苦慮し、効率は悪くなっているが、施設を移設するまでは現状どおり事業を進めていく。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		